

2020年 春（3月～5月）の天候経過

令和2年6月1日
新潟地方气象台

1. 北陸地方の今春（3～5月）の特徴

【高温、多照】

今春の天気は概ね数日の周期で変わったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。3月と5月は南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため春の気温は高かった。また、高気圧に覆われて晴れた日が多かったことから春の日照時間は多かった。

気温は、3月はかなり高く、4月は低く、5月は高かった。3か月平均気温は高かった。

降水量は、4月は多く、5月はかなり少なかった。3か月合計の降水量は平年並だった。

日照時間は、3月は多かった。3か月合計の日照時間は多かった。

2. 3か月平均（合計）と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

北陸地方平均	3～5月	3月	4月	5月
平均気温平年差	+0.7℃	+2.1℃	-1.2℃	+1.2℃
階級	高い	かなり高い	低い	高い
降水量平年比	93%	103%	131%	49%
階級	平年並	平年並	多い	かなり少ない
日照時間平年比	106%	120%	100%	101%
階級	多い	多い	平年並	平年並

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9地点）ごとの平年差（比）を平均したものです。

3. 月別の天候経過

（3月）【天気は数日の周期で変化、南からの暖かい空気が流れこみ、かなりの高温、多照】

高気圧と低気圧が日本付近を交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。冬型の気圧配置は現れにくく、上旬と下旬を中心に南から暖かい空気が流れ込んだため、気温はかなり高くなった。上旬の気温は平年差+3.1℃となり、3月上旬としては1961年の統計開始以来最も高かった。また、月の気温は平年差+2.1℃となり、3月としては1946年の統計開始以来最も高い記録的な高温となった。

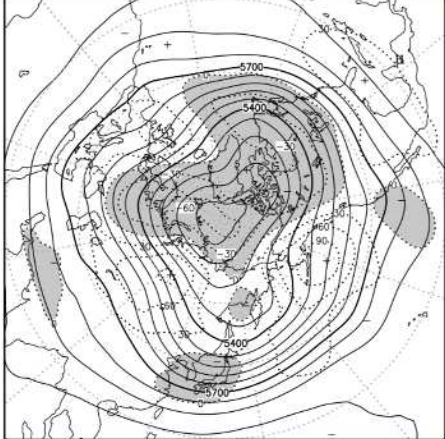
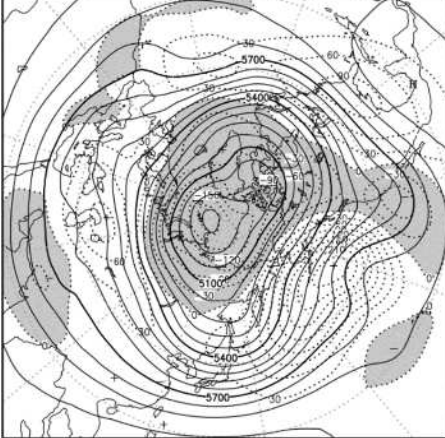
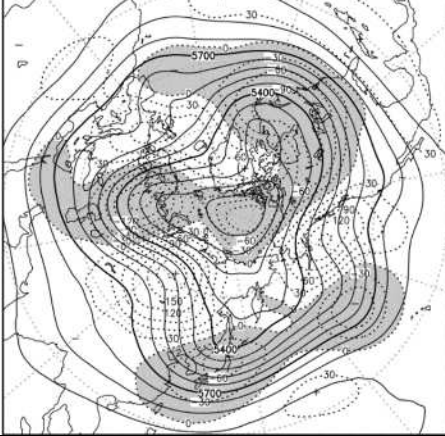
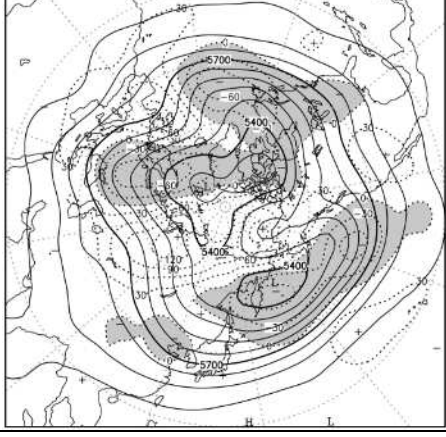
（4月）【上旬、中旬は天気は数日の周期で変化、下旬は気圧の谷や寒気の影響を受け曇りや雨の日が多かった。低温、多雨】

上旬と中旬は高気圧と低気圧が日本付近を交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。下旬は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、気圧の谷や寒気の影響を受け、曇りや雨の日が多かった。また、下旬は大陸からの寒気の影響を受けやすかったため、気温はかなり低くなった。

（5月）【天気は概ね数日の周期で変化したが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。高温、かなりの少雨】

天気は概ね数日の周期で変化したが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。南からの湿った空気の影響を受けにくかったことから月の降水量はかなり少なかった。また、中旬は暖かい空気が流れ込んだため、気温はかなり高くなった。

4. 大気の流れから見た今春の特徴（500hPa 天気図）

	<p>3～5月 黄海から本州付近は平年より高度が低く、日本付近は気圧の谷となっていた。このため、全国的に天気は数日の周期で変わり、北日本から東日本太平洋側では低気圧の影響を受けやすかった。</p>
	<p>3月 極付近で負偏差の一方、中緯度帯は広く正偏差となる正の北極振動のパターンが持続し、中緯度帯には寒気が南下しにくかった。また、サハリン付近にトラフが位置する一方、日本の東でリッジとなり、北日本を中心に全国的に南から暖かく湿った空気が流れ込みやすかった。</p>
	<p>4月 東経 90 度付近で平年より高度が高く気圧の尾根が見られる一方、日本付近は平年より高度が低く気圧の谷となった。このため日本付近は大陸からの寒気の影響を受けやすかった。</p>
	<p>5月 華北やカムチャツカ半島付近で平年より高度が低い所が広がる一方、本州付近から日本の南では広く平年より高度が高かった。このため全国的に南からの暖かい空気に覆われやすく、沖縄・奄美では南からの湿った空気の影響も受けやすかった。また、アラスカからシベリアにかけて気圧の尾根がみられ、オホーツク海高気圧が発生した時期もあった。</p>

図：500hPa 高度・偏差（等値線間隔 実況（実線）60m、偏差（破線）30m） 陰影域は負偏差

5. 参考資料

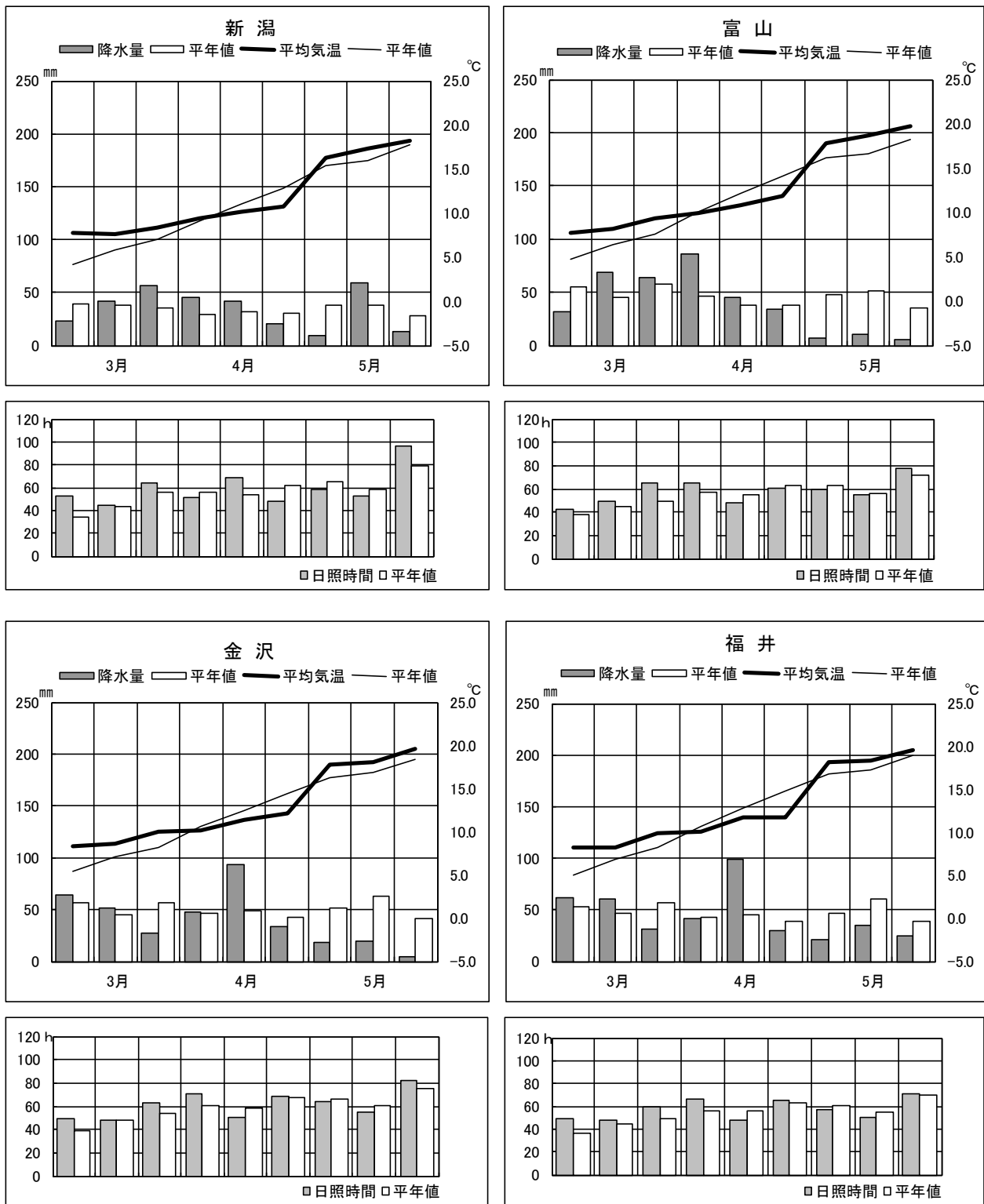


図1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における3～5月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	3月		4月		5月		3か月平均	
	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)
新潟	7.9	+ 2.2 (++)	10.1	- 0.9 (-)	17.2	+ 0.8 (+)	11.7	+ 0.7 (+)
高田	7.8	+ 2.4 (++)	10.1	- 1.4 (-)	17.6	+ 1.0 (+)	11.8	+ 0.7 (+)
相川	8.1	+ 1.9 (++)	10.2	- 1.0 (-)	16.6	+ 1.1 (+)	11.6	+ 0.6 (+)
富山	8.4	+ 2.1 (++)	10.9	- 1.2 (-)	18.7	+ 1.7 (++)	12.7	+ 0.9 (+)
伏木	8.3	+ 2.1 (++)	10.5	- 1.2 (-)	17.7	+ 1.3 (+)	12.2	+ 0.8 (+)
金沢	9.0	+ 2.1 (++)	11.2	- 1.3 (-)	18.5	+ 1.4 (++)	12.9	+ 0.7 (+)
輪島	7.6	+ 1.9 (++)	10.0	- 1.0 (-)	17.0	+ 1.3 (+)	11.5	+ 0.7 (+)
福井	8.8	+ 2.0 (++)	11.2	- 1.6 (-*)	18.7	+ 1.0 (+)	12.9	+ 0.5 (+)
敦賀	10.0	+ 2.2 (++)	11.8	- 1.4 (-*)	18.7	+ 0.9 (+)	13.5	+ 0.6 (+)
北陸平均		+ 2.1 (++)		- 1.2 (-)		+ 1.2 (+)		+ 0.7 (+)

降水量	3月		4月		5月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)
新潟	121.0	107 (O)	108.0	118 (O)	82.0	79 (O)	311.0	101 (O)
高田	179.5	92 (O)	180.5	188 (++)	58.5	61 (-)	418.5	108 (+)
相川	125.0	136 (+)	109.0	123 (+)	68.0	64 (-)	302.0	105 (O)
富山	163.0	103 (O)	164.0	134 (+)	23.0	17 (-*)	350.0	84 (-)
伏木	143.5	103 (O)	139.0	123 (+)	36.0	29 (-*)	318.5	84 (-)
金沢	143.0	90 (O)	174.5	127 (+)	42.5	27 (-*)	360.0	80 (-)
輪島	146.0	110 (O)	111.0	98 (O)	40.0	31 (-*)	297.0	79 (-)
福井	154.0	98 (O)	170.5	134 (+)	82.5	56 (-*)	407.0	95 (O)
敦賀	133.5	89 (-)	162.0	136 (+)	104.0	73 (-)	399.5	97 (O)
北陸平均		103 (O)		131 (+)		49 (-*)		93 (O)

日照時間	3月		4月		5月		3か月合計	
	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)
新潟	161.0	121 (++)	167.6	99 (O)	206.2	102 (O)	534.8	106 (+)
高田	149.9	124 (+)	170.1	94 (O)	205.9	105 (O)	525.9	106 (+)
相川	143.1)	108 (+)	173.8	97 (O)	192.8	99 (O)	509.7	101 (O)
富山	157.3	120 (+)	173.3	99 (O)	191.6	100 (O)	522.2	105 (+)
伏木	166.7	126 (++)	181.2	102 (O)	207.2	106 (O)	555.1	110 (++)
金沢	160.0	113 (+)	189.5	102 (O)	200.3	99 (O)	549.8	104 (+)
輪島	152.6	120 (+)	196.3	105 (O)	201.5	100 (O)	550.4	107 (+)
福井	156.6	121 (+)	180.8	104 (O)	177.9	96 (O)	515.3	105 (+)
敦賀	152.9)	123 (+)	167.6	100 (O)	186.5	106 (+)	507.0	108 (+)
北陸平均		120 (+)		100 (O)		101 (O)		106 (+)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。なお、新潟は観測場所の移転により、気温の平年値(統計期間1981～2010年)を更新しています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い(少ない), (O) : 平年並, (+) : 高い(多い)

(-*) : かなり低い(かなり少ない), (++) : かなり高い(かなり多い)

注3) 値の横に) や] がある場合には、使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を气象台等に確認して、品質を確かめてください。

表2 北陸地方における3～5月の累年極値・順位（3位以内）更新

◎月平均気温高い方からの順位更新

月	順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃(西暦年)	統計開始 年	平年値 ℃
3	1	新潟	7.9	+2.2	7.7(2002)	1882	5.7
		高田	7.8	+2.4	7.6(2018)	1922	5.4
		相川	8.1	+1.9	8.0(2002)	1912	6.2
		伏木	8.3=	+2.1	8.3(2018)	1884	6.2
		金沢	9.0=	+2.1	9.0(2002)	1882	6.9
		輪島	7.6	+1.9	7.5(2018)	1930	5.7
	福井	8.8	+2.0	8.7(2002)	1897	6.8	
	2	敦賀	10.0	+2.2	10.1(2018)	1898	7.8
3	富山	8.4	+2.1	8.7(2018)	1939	6.3	

注) =タイ記録を示す

◎月降水量少ない方からの順位更新

月	順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm(西暦年)	統計開始 年	平年値 mm
5	1	富山	23.0	17	44.0(1970)	1939	134.2
		伏木	36.0	29	40.6(1887)	1884	125.6
		金沢	42.5	27	47.5(1967)	1882	155.2
		輪島	40.0	31	42.5(1989)	1929	127.6

6. 天候情報発表状況

なし

(注) この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。